

# 令和3年度・IoT見学会を開催

## ～日本放送協会金沢放送局で放送設備を見学～



イノベーション部会は、令和3年11月22日(月)、オンライン形式による「令和3年度・IoT見学会」を実施しました。

今回の見学会は、日本放送協会金沢放送局の協力を得て、私たちが日頃観ているテレビの番組の撮影、制作、放送している設備を中心に見学する内容です。

最初に、日本放送協会金沢放送局 小原美和局長から、金沢放送局1階の「ハートプラザ」に設置されている220インチスーパーハイビジョンディスプレイの説明や「新型コロナウイルスの影響で、NHKの働き方や伝え方も変わってきており、ICT技術も活用しながら北陸地域の活性化に寄与する報道に取り組む」旨の挨拶がありました。続いて、イノベーション部会 丹康雄部会長(北陸先端科学技術大学院大学副学長 教授)と日本放送協会金沢放送局 大島圭司技術部長の進行により、見学会が進められました。

内容としては、①220インチスーパーハイビジョンディスプレイ、②ひやくまんスタジオ、③中継車、④副調整室&ロボットカメラ、⑤主調整室&ファイルベースシステム、⑥ラック室の順番に見学し、設備の説明、質問や補足が随時行われました。

また、ひやくまんスタジオでは、アナウンサーがカメラを観ながら原稿を読むことができる仕組みが紹介されるとともに、副調整室ではカメラの切り替えやロボットカメラの遠隔操作を実際に行いました。

さらに、オンライン参加者からも、チャット機能を利用して、専門的な質問やユニークな質問など、多岐にわたる質問が出されていました。

最後に、丹 康雄イノベーション部会長からは、日本放送協会金沢放送局へのお礼と「今回の見学会では、日頃観ることができない設備を見学することができ、貴重な経験ができた」旨の閉会挨拶で見学会を終了しました。

今回の見学会では、イノベーション部会構成員及び幹事会構成員を中心に「19名」が参加しました。



【金沢放送局での様子】



【見学会のリモート画面】